



令和2年3月19日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学 産学連携機構

東北大学発ベンチャー起業支援プログラムの採択決定 難治がんに対する革新的治療法事業化検証など新たに7件を採択

【発表のポイント】

- ・ベンチャー起業支援プログラムとして、7件の事業化案件を採択
- ・事業化資金支援のほか、関連機関によるメンタリング、マッチングイベントへの参加支援を行う

【概要】

国立大学法人東北大学では、東北大学発ベンチャー100社創出を目指し、研究成果を活用したベンチャー企業創出への支援に力を入れております。

具体的には、事業化の意志を持つ研究者を対象に社会的インパクトのある研究成果の事業化・実用化を支援する東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム(以下BIP)を実施しています。本プログラムには、企業との共同研究を前提とする「重点」と、新技術の事業化検証から、実用段階にある技術の起業準備に至る幅広い段階に応じた支援が可能な「育成」があります。

この度、令和元年度第2回学内公募に係る審査の結果、研究者の事業化意欲の積極的な発掘と支援拡大を視野にした支援プログラムとして実施している「育成」において、7件の事業化案件を採択いたしました。

BIPは、平成25年7月開始以降、これまで43件を支援しております。そのうち17件がベンチャー企業の設立に繋がっていることから、引き続き、持続可能で心豊かな社会の創造に貢献できる技術などを活用したビジネスの創出を目指して活動を進めてまいります。

【問合せ先】

国立大学法人東北大学 産学連携機構 事業イノベーションセンター
江口 弘一、宇佐見 晃、後藤 大志

Tel : 022-752-2200

E-mail : info.innovation@ml.tohoku.ac.jp

URL : <http://www.rpip.tohoku.ac.jp/sangaku/inn/>

【東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム(BIP)】

「重点」:事業化に賛同するパートナー企業との共同申請による本格的な事業化検証プログラム

「育成」:研究者の事業化意欲の積極的な発掘と支援拡大を視野にした支援プログラム

平成 25 年 7 月開始以降「重点」「育成」合わせて、計 43 件を支援し、17 件がベンチャー企業として設立されました。

【採択者への今後の支援内容】

- 「重点」では、大学が 3,000～6,000 万円＋パートナー企業が BIP 実施費総額の 1/3 を負担し、「育成」では、大学が上限 500 万円の額を負担し、大学発ベンチャー創出のための事業化資金を援助
- 産学連携機構、オープンイノベーション戦略機構、東北テクノアーチ、東北大学ベンチャーパートナーズによるメンタリング
- 連携企業開拓のためのマッチングイベントの参加支援

(別紙)

令和元年度第2回東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム (BIP) の採択内容

タイプ	所属部局	実施代表者	BIP 実施内容
育成	未来科学技術 共同研究センター	佐藤 靖史 教授	バゾヒビン2抗体による難治がん に対する革新的治療法開発の事業 化検証
育成	工学研究科	吉田 慎哉 特任准教授	飲み込みセンサ用プラットフォーム 集積回路および集積化実装技術を 基盤とする「飲む体温計」の事業 性検証
育成	多元物質科学研究所	中村 貴宏 准教授	レーザー合成合金ナノ粒子販売事 業立ち上げのための技術開発と生 産事業化検証
育成	医学系研究科	中澤 徹 教授	眼疾患早期発見を目指したビジネ スモデルの構築
育成	農学研究科	松尾 歩 助教	高精度次世代 DNA 分析による生物 種・産地・品種・個体識別技術の 開発とその事業化検証
育成	学際科学フロンティア 研究所	中安 祐太 助教	里山発の環境にやさしいウッドバ ッテリーのプロトタイプ作製
育成	医学系研究科	菅原 明 教授	糖質応答転写因子 ChREBP の活性 抑制をコンセプトとする新規糖尿 病性腎症治療薬の実用化に向けた POC の確立

事業期間:令和2年4月1日～令和3年3月31日